

モロッコ

Kingdom of Morocco

	2015年	2016年	2017年
①人口：3,485万人（2017年）			
②面積：44万6,550km ²			
③1人あたりGDP：3万509モロッコ・ディルハム（2017年）			
④実質GDP成長率（%）	4.5	1.1	4.1
⑤消費者物価上昇率（%）	1.6	1.6	0.7
⑥失業率（%）	9.7	9.9	10.2
⑦貿易収支（100万モロッコ・ディルハム）	△154,184	△184,932	△188,784
⑧経常収支（100万モロッコ・ディルハム）	△21,138	△42,785	△38,008
⑨外貨準備高（グロス）（100万モロッコ・ディルハム）	215,458	243,200	234,642
⑩対外債務残高（グロス）（100万モロッコ・ディルハム）	300,985	312,468	332,354
⑪為替レート（1米ドルにつき、モロッコ・ディルハム、期末値）	9.91	10.1	9.33

〔出所〕①～⑥：モロッコ高等計画委員会、⑪：IMF、⑦⑧：モロッコ為替局、⑨：モロッコ中央銀行、⑩：モロッコ経済・財政省

■農業部門の好調が高成長を後押し

2017年のモロッコの実質GDP成長率は4.1%増と、前年の1.1%増を大きく上回った。農業分野が前年の13.7%減から回復し、2017年は15.1%増だったことが影響した。

需要項目別では、民間最終消費支出が前年の3.7%増から3.5%増に低下、政府最終消費支出は1.5%増と前年から横ばいだった。また国内総固定資本形成は住宅建設や公共事業の低調が響き、前年の8.7%増から2017年は0.8%減に鈍化した。財貨・サービスの輸出は10.9%増と、外需の高まりを背景に大きく伸びた。輸入は7.4%増だ。

2017年のモロッコ財政は、税の徴収率向上をはじめとする歳入の強化と歳出の節減により財政赤字に改善がみられ、2016年のGDP比4.0%から2017年は3.5%に縮小している。対外債務残高はGDP比で2016年の30.8%から2017年は31.0%に達した。

■前年のマイナス成長から転じて一次産業が大幅成長

2017年のモロッコ第一次産業は、農業が前年比15.1%成長した。主に穀物や豆類の増産が成長を牽引した。一

方、水産業は付加価値ベースでやや縮小した。しかし、一次産業全体としては前年のマイナス成長から転じて13.6%の拡大となり、GDP成長に1.6ポイント貢献している。第二次産業は、主に東アフリカや南米諸国などのリン粗鉱や肥料の需要が伸びた結果、鉱業、化学産業が好況となった。また、住宅建設や公共事業は低調なものの国内製造業投資が下支えして建設業も成長を維持した。一方、繊維・皮革産業、金属加工業、電気機械産業などは成長が鈍化した。第二次産業全体として2.9%の成長となった。第三次産業は、主に貿易業、観光業の好調により前年比2.7%成長となった。

■エネルギー輸入の影響で貿易赤字は高止まり

2017年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比10.1%増の2,485億モロッコ・ディルハム（以下MAD）、輸入は6.5%増で4,373億MAD、貿易赤字は1,888億MAD（通関ベース）であった。

輸出は前年に続き自動車（乗用車）が最大となったほか、自動車部品（ワイヤーハーネス類）の輸出も順調に伸びた。衣料品もスペインの既製衣料品需要により好調を示した。2017年の輸出増加に最も寄与したのはリン鉱石とリン肥料である。粗リン酸の国際価格が低下する中でも金額ベースで、リン肥料は前年比23.1%増、リン鉱石も12.9%増加した。そのほか農水産食品の輸出が好調で、タコ・イカ・貝類が前年比8.9%増、トマトが11.9%増、イワシやサバの缶詰等が9.1%増と伸びている。なお輸出額はまだ小さいが、欧米航空機メーカー向けの航

表1 モロッコの需要項目別実質GDP成長率

	2016年	2017年				2018年	
		Q1	Q2	Q3	Q4		
実質GDP成長率	1.1	4.1	3.8	4.2	3.8	4.1	3.2
民間最終消費支出	3.7	3.5	4.0	4.9	4.5	3.4	3.0
政府最終消費支出	1.5	1.5	0.9	0.6	0.7	0.8	2.0
国内総固定資本形成	8.7	△0.8	5.3	1.5	△5.3	△2.3	9.7
財貨・サービスの輸出	5.5	10.9	4.6	6.0	10.5	11.9	6.8
財貨・サービスの輸入	14.7	7.4	7.0	2.7	1.5	4.2	9.6

〔注〕四半期の伸び率は前年同期比。

〔出所〕モロッコ高等計画委員会

表2 モロッコの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万MAD、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2016年		2017年			2016年		2017年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
自動車	28,882	31,009	12.5	7.4	石油製品	34,734	44,808	10.2	29.0
衣料品	29,414	30,849	12.4	4.9	自動車(乗用車)	21,064	21,339	4.9	1.3
電気ケーブル類(ワイヤーハーネスを含む)	24,134	26,977	10.9	11.8	自動車部品(車体ほか)	16,435	14,670	3.4	△10.7
リン肥料	17,908	22,049	8.9	23.1	天然ガス	11,102	13,789	3.2	24.2
リン酸	11,162	10,637	4.3	△4.7	電気ケーブル類(ワイヤーハーネスを含む)	10,916	11,949	2.7	9.5
リン鉱石	7,412	8,370	3.4	12.9	小麦	12,783	8,341	1.9	△34.7
タコ・イカ・貝類	7,373	8,032	3.2	8.9	油脂	5,211	6,114	1.4	17.3
トマト(生鮮、冷蔵)	5,032	5,630	2.3	11.9	航空機部品	3,286	5,415	1.2	64.8
イワシ・サバ類(罐詰等)	5,036	5,493	2.2	9.1	穀物(小麦を除く)	5,731	5,279	1.2	△7.9
航空機部品	4,257	5,530	2.2	29.9	石炭および石炭製品	4,409	4,537	1.0	2.9
半導体デバイス	4,088	4,317	1.7	5.6	輸入電力	2,312	3,526	0.8	52.5
合計(その他含む)	225,651	248,493	100	10.1	合計(その他含む)	410,583	437,277	100	6.5

[注] 2016、2017年は暫定値。

[出所] モロッコ為替局

表3 モロッコの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位：100万MAD、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2016年		2017年			2016年		2017年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
スペイン (1)	52,925	58,835	24.0	11.2	スペイン (1)	64,246	73,787	16.9	14.9
フランス (2)	48,152	56,789	23.1	17.9	フランス (2)	54,463	51,941	11.9	△4.6
イタリア (3)	10,372	11,452	4.7	10.4	中国 (3)	37,324	39,560	9.1	6.0
米国 (4)	7,794	9,781	4.0	25.5	米国 (4)	26,012	29,932	6.9	15.1
ブラジル (9)	5,784	7,339	3.0	26.9	ドイツ (5)	25,005	26,440	6.1	5.7
ドイツ (8)	6,177	7,001	2.9	13.3	イタリア (6)	22,289	25,397	5.8	13.9
トルコ (6)	7,431	6,876	2.8	△7.5	トルコ (7)	18,143	19,251	4.4	6.1
インド (5)	7,433	6,426	2.6	△13.5	ポルトガル (8)	12,021	13,476	3.1	12.1
英国 (7)	6,573	5,875	2.4	△10.6	英国 (12)	7,823	9,910	2.3	26.7
オランダ (10)	4,939	5,388	2.2	9.1	ロシア (9)	10,006	9,291	2.1	△7.1
合計(その他含む)	223,438	245,596	100	9.9	合計(その他含む)	409,248	435,651	100	6.5

[注] ①2016、2017年は暫定値。

②国名の横のカッコ内数値は2016年順位。

[出所] モロッコ為替局

空機部品は前年比29.9%増で、過去3年2桁の伸びを続けている。

輸入は前年比6.5%増で、前年の9.8%成長という高い伸びと比べて、減速した。これはエネルギーを除く輸入品の伸びが一般的に緩やかに推移したためであり、とりわけ小麦などの穀物の輸入が大幅に抑制された。一方でエネルギー関連品は過去数年にわたる輸入節減に貢献してきたがエネルギー価格上昇を受けて、石油製品、天然ガス、輸入電力などで大幅に増加した。

国別では例年のとおり、輸出、輸入ともスペインが最大の相手国で、次いでフランスであった。スペインへの輸出額は前年比11.2%増の588億MAD、またフランスは17.9%と大きく増加して568億MADになった。3位のイタリア(115億MAD)を含めると上位3カ国への輸出は、モロッコの輸出全体の5割を超えている。輸入は、スペインが前年比14.9%増の738億MAD、2位のフランスは4.6%減の519億MADであった。3位は396億MADの中国であり、前年比6.0%増で、国別シェアは9.1%と10%

に近づきつつある。モロッコは輸入先7位のトルコとの間に自由貿易協定(FTA)を結んでいるが、2018年1月、国内繊維産業の保護のためのセーフガードを発動した。これはトルコ製繊維品の輸入が2013~2017年の間に175%増加したためであり、産業存立の危機を訴える国内業界からの強い要請を受け入れ

たものであった。トルコ繊維製品に対する臨時関税措置は、両国が2006年1月に発効したFTA第17条規定に基づくもので、両国の貿易取引が特定の産業に重大な影響を及ぼしていると認められる場合、関税率25%を上限とする調整措置が時限的に認められている。当局によればモロッコにおける輸入繊維製品の国内シェアは41%に達している。

■モロッコの対外投資は外国銀行への資本参加が中心

モロッコ為替局によると、2017年のモロッコの対内直接投資額(報告・届け出ベース、フロー)は前年比2.5%減の345億MADであった。産業別では不動産投資が97億MADと最大であったが、投資額は前年比で13.4%減少しており業種別シェアは28.2%にとどまった。またシェア2位(22.8%)の製造業投資も前年比18.8%減の79億MADとなった。これに対して物流、エネルギー・鉱業、保険向けの投資が拡大した。中でも保険業への投資が前

年の3億MADから37億MADと大幅に増加した。これは国内三大保険会社の一つであり、近年アフリカ大陸市場への事業拡大を進めてきたサハムグループが、2018年3月に保険事業部門を南アフリカ共和国の保険大手サンラムグループに売却したためとみられる。国別では例年同様にフランスが最大投資国（構成比27.3%）で、94億MADであった。次いで前年から投資額を倍増させた米国（17.0%）が59億MAD、アラブ首長国連邦（9.9%）が34億MADであった。なお中国も投資額を倍増させて8億6,000万MADとなり、国別10位にランクインした。2016年5月にモロッコのモハメッド6世国王が訪中して以降、両国は文化のみならず、観光やビジネスなどでの交流が深まっている。モロッコは国内自動車産業のさらなる発展に向けて、ルノー、プジョーに続く第3の自動車メーカーの誘致を進めてきたが、2017年12月、リチウムイオン電池製造の世界大手である中国の比亞迪汽車の誘致に成功した。モロッコ北部タンジェ地方に中国が建設を計画している工業都市「モハメッドVIタンジェテック・シティ」で電気自動車や電気バス・トラックなどが生産される見込みである。また、中国の建設関連企業である山東電力建設第三工程が北部ジェラダの石炭火力発電所の建設を進めている。

モロッコの対外直接投資額は、前年比30.4%増の103億MADであった。産業別では銀行、通信、不動産が主な投資先であり、とりわけ外国銀行への資本参加は62億

MADとモロッコの対外投資の6割を占めている。投資先の1位はエジプトで54億MAD、次いでフランスの13億MAD、コートジボワールの12億8,000万MADとなっている。

■日・モロッコ投資協定が実質合意

日本の「貿易統計」（通関ベース）によれば、2017年の対モロッコ貿易は、輸出が前年比28.0%と大幅に減少し2億4,300万ドル、輸入が10.5%増の2億9,900万ドルであった。これにより日本は対モロッコ貿易で5,600万ドルの貿易赤字を計上した。日本の最大輸出品目である自動車（乗用車、バス・トラック）は、2016年に大幅に減少したものの2017年は前年比5.1%増の6,720万ドルであった。一方、機械類のうち原動機が1億480万ドルから3,720万ドルに減少した。輸入は魚介類（構成比52.0%）が前年比3.1%減となったものの、非鉄金属製品（6.2%）が前年の2.5倍に増加したほか、ICや電気ケーブルが伸びた。

日本の2017年の対モロッコ投資額は1億9,500万MADであった。なお、モロッコは50カ国以上と二国間租税条約を締結しているが、日本とは締結していない。日本企業は二重課税を避けるために、欧米やその他の国から迂回投資をしているケースもある。そのような中、2018年4月末に両国は日・モロッコ投資協定について実質合意に達した。これを受け、日系企業の進出がより加速することが期待される。